新年初刊の時事新報

明年一月一日の時事新報は**三十二面以上の大新聞**を發行し且つ當日添へて頒布する**新年附錄**は海戰畫帖の筆者たる若林海軍大尉の圖案油畫師中に錚々の聲ある淺井忠氏の揮毫に成れる**帝國軍艦富士、八鳴**の圖にして渺々たる海上二艘の高く日章旗を檣頭に掲げ鋒鋩相銜んで進行する處、威風凜然海國人士の理想を表現して遺憾なし圖は縦一尺五寸横二尺十餘度摺りの精巧美麗なる着色石版畫なり而して**月極めの購讀者**には之を**無料進呈**し當日**限り購讀**の需に對しては**本紙附錄合せて金十錢**申受く

新年紙面の廣告締切

新年三箇日の時事新報は廣告依頼者等に多く取扱上無據左の通り申込期日を相定め廣告欄を締切り候間に付廣告御依頼の向きは期日に後れ自然掲載洩れの御遺憾無之樣至急御申込相成度候

一月一日掲載の分十二月廿八日迄
一月二日掲載の分十二月三十日迄
一月三日掲載の分十二月廿一日迄

社說

今の政黨は何の爲めに爭ふか

政黨の公爭は立憲政治に免かる可らざるの成行なれども其爭は主義の爲めのみ苟も主義以外に爭ふものは取りも直さず私爭と認む可きものにして之を目するに政黨の名を以てす可らず西洋諸國の例を見るに英國には古來保守自由の兩政黨あり甲は舊慣古例を重んじ乙は改良進歩を主とし互に主義を殊にして互に相對立せり今日に至りては歳月の經過と共に其主義も自から變遷して往昔の區別を見ざるが如しと雖も一方は自から對外の政略に力を專にする其反對に一方は自から内政の改新に心を用ふるの事實は何人も認むる所にして今の英國の政黨は内治外交の主義を以て公然相爭ふものと云ふ可し又米國の合衆共和の兩黨も自から主義を殊にして例へば今回大統領の撰擧競爭に双方相對して金銀の論を爭ひたるが如き明に主義の爭と認む可きものにして彼の國々に於て政黨の爭點は全く主義の如何に在るの事實を知る可し目下我國の政界にて自由黨と云ひ進歩黨と云ひ互に相對立して互に相爭ふ其爭は如何と云ふに過般内閣の更迭以來自由黨は前内閣に結托云々の行掛りより現内閣に反對し進歩黨は現内閣の[illegible]致したるの緣故を以て前内閣の[illegible]水火氷[illegible]低く[illegible]は金[illegible]直接に[illegible]

[illegible]

政黨の名を冒して自家の[illegible]

[illegible]

[illegible]